

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 待遇表現の言語行動論的研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉戸, 清樹, 塚田, 実知代 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003311">https://doi.org/10.15084/00003311</a>

## 待遇表現の言語行動論的研究

言語行動研究部 杉戸 清樹 (ssugito@kokken.go.jp)  
同 塚田実知代 (mitsukada@kokken.go.jp)

### 【要旨】

- ①社会言語学・言語行動研究の領域で敬語や待遇表現の調査研究を進めていると、一般の回答者が、狭義の敬語だけでなく、より幅広い範囲の敬意の表現を意識しているらしいことがしばしば観察される。
- ②たとえば、他人に何かを依頼する際に、依頼する理由や事情を言い添えるか、依頼する際の時間帯や媒体のことを断りとして言い添えるかなど、依頼表現全体の話の組み立て方という点に、敬語についてと同様の対人的な配慮が観察される。
- ③面接調査の質問や回答結果によって検討すると、そのような表現を言い添えることが表現の丁寧さや相手への配慮を支えるという意識の存在することが、成人だけでなく高校生という若年層にも指摘できる。また、敬語形式の使い方から見て丁寧な表現には、こうした言い添えが現れやすいという関連も指摘できる。
- ④そのような表現の内容を検討すると、単に言語形式・言語表現としての敬語や待遇表現だけでなく、言語行動としての待遇表現の広がりが見えてくる。
- ⑤こうした論点の広がりには、学校教育の場や国語審議会の議論の中にもすでに指摘される。この視点に立った敬語・待遇表現研究が、今後とも展開されるべきである。

【キーワード】 敬語 待遇表現 言語行動

### 1. 【問題の発端】 いま気になること：敬語の社会言語学的調査を進める中で

- (1) 社会言語学・言語行動研究という領域で、敬語使用や敬語意識の調査研究を進めている。調査の最中、あるいは録音文字化作業中、次のことがくりかえし気になる。  
敬語について質問していると、一般の人たちが敬語そのもの（だけ）でなく、敬語以外の言葉遣いのあれこれに、敬語と同じように気を配っていることが回答のしばしばに現れる。

#### (2) たとえば

##### ①ある内容のことをそもそも口にするか？

ことばの調査で敬語を聞いた。(『言語生活』1975年2月号<耳>欄から抜粋)  
調査員 きわめて尊敬している目上の方が本を読んでいます。その人に「何を  
読んでいますか」という意味のことを尋ねるとき、どう言いますか？」  
回答者 「……………」(考え込んでいる)  
調査員 「いかがですか？」(回答をうながす)  
回答者 「うーん、尊敬している目上の人には、そんな質問はできないなあ。」

## ②どんな内容のことを口にするか？

行きつけの店で手荷物を一時預かってもらうように頼むときの依頼表現。

(京都・熟年女性への面接調査から。94年3月)

回答者 わたし、「スイマセンケドモ、コレ、チョット重タイシー、預カッテモラエマセンカ」って言う。

調査員 あの一、細かなことですけど、いま「重タイシー」とか「ホカニ廻ランナランシー」とおっしゃいましたね。そういうことを説明してから頼まれたんですけど、その説明というのは、やっぱり言ったほうが落ち着きますか？

回答者 そー、なんか言いますねー。

調査員 それ無しだと、頼みにくいですか？

回答者 はー、頼みにくいですね。

調査員 もし、それを言わずに頼むとなると、どんな感じになりますか？

回答者 あ、それを入れないでですか？「コレ、チョット、置カシトイテモラエマセンカ」っていうだけ？

調査員 はい。それだけだと、どんな気持ち、なんか言葉が足りないって感じがしますか？

回答者 そーそーそー。京都ではね。なんか悪い感じがしてきてなー。

なんか言葉が足らなくて、あとで問題になる。ひとことが足りなくてあとでなんか言われそうとか。(抜粋)

## 2. 【仮説】敬意の表現は「敬語」によるだけではないだろう

### (1) 【出発点】敬意の表現とは？

一つの場面に現れることのできる複数の表現の中から、話し手(書き手)が話し相手など周囲の人やその場の状況に気配りをした結果選択する、その気配りにもっとも適した表現

### (2) 【調査】次のようなとき、どう言うか？

○言語行動研究部で、現在進めている敬意表現調査。目下、データ整理中。

<調査地点> 仙台・京都・東京・熊本

<調査対象> 熟年層・壮年層(各地点30～50人)・高校生(各地点50人)

<方法> 2～3人ずつへの座談会風の面接調査

①ひごろ行きつけの店で買い物をしたとします。店員は顔見知りで気楽に話せる人です。もう一軒近所の店で別の買い物があるので、その用が済むまで、乗ってきた自分の自転車を店先に置かせてもらうとしたら、どんなふうに頼みますか？

回答例 A「しばらく自転車を置かせてもらっていいですか？」

B「ちょっと他に回りたいので、しばらく自転車を置かせてもらえないですか？」

②家族の一人が夜遅く急病になったとします。かかりつけのお医者さんに電話をして、すぐに診察してもらおうように頼むとしたら、どんなふうに頼みますか？」

回答例 C 「父が急におなかが痛いと言っているんですが、すぐに診てもらえますか？」

D 「佐藤先生ですか？ 夜分に電話ですみません。2丁目の田中ですが、父が腹痛で動けません。今から診ていただけませんか？」

(3) 回答例の中から狭義の「敬語」を捜すと？

「です」「ます」「いただく」だけ。 → これだけでいいのか？

(4) 少し範囲を広げて「待遇表現」と呼ばれるものを捜すと？

- ①「しばらく」(「ちょっとのあいだ」「ちょっとだけ」などとの対比で)
- ②「いい」(「よろしい」「かまわない」「平気」「大丈夫」など " )
- ③「もらう」「もらえない」(「くれない」「いただけない」など " )
- ④「父」(「お父さん」「おやじ」「父親」「パパ」など " )
- ⑤「おなか」(「はら」「腹部」など " )
- ⑥「言う」(「申す」「訴える」など " )
- ⑦「すぐに」「今から」(「すぐ」「いそいで」「早急に」「ただちに」 " )
- ⑧「置かせてもらう」(「置く」「置いておく」「置いとく」など " )
- ⑨「いいですか」(「いいでしょうか」「いけないですか」など " )
- ⑩「もらえますか？」「いただけないでしょうか？」(肯定形・否定形も「もらえませんか？」「いただけますか？」など " )

(5) これらだけが「敬意の表現」か？

①自転車預かりを依頼する時の事情説明について

回答例A：「しばらく自転車を置かせてもらっていいですか？」

B：「ちょっと他に回りたいので」という、許可を求める事情・理由も説明してから頼んでいる。

【調査での追加質問】

Q 頼む理由や事情を言い添えることが多いかどうか？

A 理由はだいたい説明する。／あまり具体的なことまでコマゴマとは言わないが、軽くだったらだいたい言い添える。

Q 言い添えるのはどうしてか？

A 理由を言わないのは相手に失礼だから。／言う方が丁寧だから。／なぜだろうと相手が不審に思い、不愉快にさせそうだから。

→ これを言い添えた方が丁寧だという評価が、成人でも高校生でも多数派。

②急病の家族の診察を依頼するときの表現内容について

回答例C：事情説明ではじめて、すぐに依頼をするだけ。

D：相手確認あり 「佐藤先生ですか？」

自己紹介あり 「2丁目の田中ですが」

時間帯や媒体（道具）にも言及あり 「夜分に電話ですみません」

【調査での追加質問】

Q 頼むのが昼間の診察時間中の場合と夜間の場合とで、なにか変わるか？

A 「夜分すみません」「夜おそくに申し訳ありません」など、時間帯への断り（言い訳・コメント）が、成人でも高校生でもほぼもれなく追加される。

Q 医院まで行って直接頼む場合と電話で頼む場合とで、なにか変わるか？

A 「電話で失礼します」など用いる媒体についての断りは、高年層でかなり現れるが、高校生ではほとんど現れない。

- 相手確認・自己紹介・時間や媒体への断りなどがあつたほうが丁寧な頼み方だという評価は比較的多数。
- 一般成人も高校生も、言語形式としての（狭義の）敬語・待遇表現にとどまらず、上記のような話の内容の選択・組立て方についても、対人的な気配りが及ぶという意識は十分に持っている。

→ 【一つの見通し】 こういう言語表現も「敬意の表現」に含めて考えるべきだ。

(6) 【検証】 問題の表現の有無と、表現全体の丁寧さは関連するか？

【問題設定】 たとえば、依頼の表現にとって、その依頼をする理由や事情を言い添えることは、依頼の表現全体の丁寧さを整える上で有意味か？

【手続き】 国立国語研究所の愛知県岡崎市での敬語調査（昭和 47 年度。第 2 次調査）での同じ質問「行きつけの店で荷物（自転車）をしばらく預かってもらうよう店員に頼む言い方は」への回答（約 400 名）を「理由説明」の有無で大別してみると。

〔注〕以下の「丁寧さ評点」は、同調査報告書の分析で、敬語形式などの言語形式を基準にして、各々の回答に与えられた丁寧さの段階付け評点。数値は 1～5 の 5 段階。丁寧な回答ほど数値は小さい。

①理由・事情の説明が言い添えられた回答

例：スミマセンガ チョット ホカニ 用事ガ アルモンデスカラ ココデ  
預カッテ モラエマスカ （丁寧さ評点：2）

②理由・事情が言い添えられなかった回答

例：オジサン 荷物 シバラク 預カッテ モラエマセンカ （評点：4）

＜集計表＞	回答総数	3 9 9 件	評点平均	2. 7 1 2
	理由・事情説明あり	2 4 3		2. 5 1 0
	” なし	1 5 6		3. 0 2 6

【解釈】理由・事情説明を含む回答グループは、含まない回答グループよりも、敬語形式からする丁寧さ評点の平均値が小さく（有意差あり）、表現全体として「丁寧な」表現だと判定されていた。

→ 依頼の言語行動にとって、その理由・事情を言い添えることは、表現全体が丁寧なものとなる上で有意味に関係するらしい。

### 3. 「敬語」を含む「敬意表現」の広がりを： 関連する分野での動き

#### (1) 学校での国語科教育の中で

高等学校「学習指導要領 国語 現代語 内容（指導事項）」

ア 話し言葉の特質を理解し、様々な目的や場に応じた話し方や言葉遣いを身に付けること。

イ 適切な発声、発音、抑揚、強弱、話す速度などを考えて、効果的に話すこと

ウ 文章や文の組立て、語句の働き、表記の仕方などを身に付けること。（下略）

#### (2) 国語審議会での議論の広がり

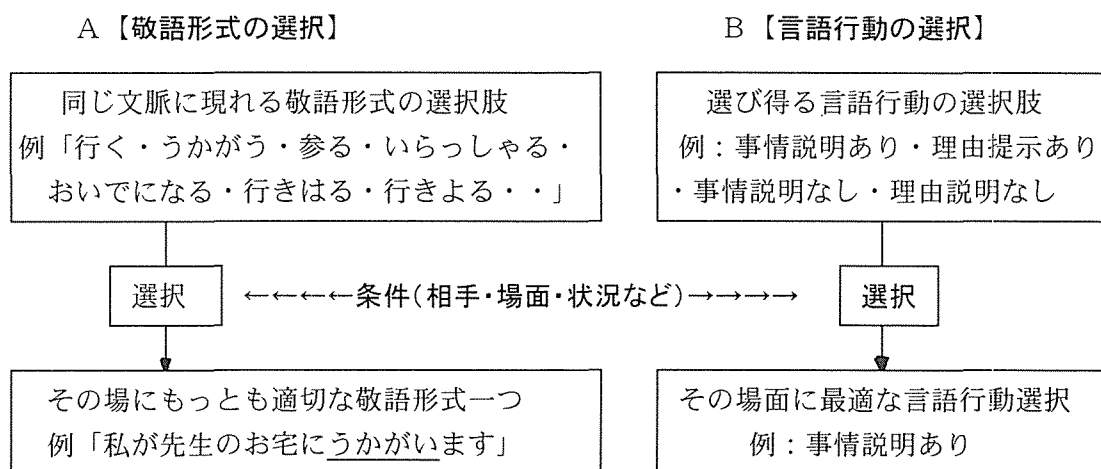
「敬意表現」への視野の展開 （第21期『審議経過報告』98年6月から）

「従来主として扱われてきた敬語（狭い意味の敬語。以下、「敬語」という）は、いわゆる尊敬語、謙譲語、丁寧語などであるが、これらを正しく使えばコミュニケーションが円滑に進むというものではない。（中略）すなわち、コミュニケーションを円滑にするという目的のためには、狭い意味の敬語だけでなく、敬意表現という大きなとらえ方をする必要がある。」

「敬意表現とは、狭い意味の敬語を含む敬意に関わる表現の総称である。我々は現実の言語生活における他者との言葉のやりとりに際し、相手は場面に応じた様々な配慮の下に自己表現として敬意表現を使っている。」

### 4. 【まとめ：今後の方向】

敬語のメカニズムと敬意表現のメカニズム：言語行動としての待遇表現研究へ



- (1) このプロセスの図は、言語形式としての敬意表現（敬語）と、より広い言語行動としての敬意の表現を共通の枠組みで把握しようとするもの。日常の敬意表現意識は、このようなところにあるのではないか？ 両者を、この概念図に象徴されるような共通性を土台にして把握すべきではないか？
- (2) 前に紹介した調査質問への回答例では、言語表現としての敬意の表現の例を限られた側面（話の内容の組み立て方という側面）だけを焦点にして示した。しかしながら、そこで注目した言語表現を、視点を拡大してとらえ直して見ると、そこには、「言語行動としての待遇表現」と呼ぶべきことがらの広がりが見えてくる。

たとえば、回答例Dの「夜分、電話ですみません」という一言の中には、次のような言語行動としての敬意表現の気配りが表現されていると解釈できる。

- ① 人に依頼するには、そのための然るべき時間帯（昼間、医院の開業時間中など）であるのが本来だ。夜というのは、その時間帯から外れた、遠慮すべき時間である。
- つまり、依頼するという言語行動を実現する「時間」の要素そのものの選択にも、相手や状況についての配慮が反映する。
  - 「こんな時間にすみません」「仕事中に申し訳ありません」「お休みのところお邪魔して恐縮です」などで表現されるような配慮。
- ② 人に、それも相手の負担になることを、さらには通常的时间帯を外して依頼する際には、本来であれば相手の所に行って直接に依頼すべきである。電話というのは、その点で略式で避けるべき接触方法・メディアである。
- 依頼という言語行動を実現する「メディア・道具」の選択にも、相手や状況についての配慮が反映する。
  - 「本来ならばお目にかかって申し上げるべきですが」「簡単なはがきだけですみません」などの配慮。

- (3) われわれは、日常の言語生活で、この種の言語表現をごく普通の言語行動として言ったり書いたりしている。そこで言及されることがらは、当の言語行動を構成している言語内的・言語外的な諸要素であり、従来の言語研究で「言語行動の構成要素」という概念のもとに議論されているものごとにあたる。

「言語行動としての待遇表現」が、そうした広がりの中で把握されるべきである。

#### 【主な関連文献】

- 国立国語研究所 1983 『敬語と敬語意識：岡崎における20年前との比較』（三省堂）  
 杉戸 1983 「待遇表現としての言語行動：注釈という視点」（『日本語学』2巻7号）  
 杉戸 1992 「言語行動を説明する言語表現と丁寧さ」（『日本語研究13』都立大学）  
 杉戸 1995 「メタ言語行動表現の日英対照：コロンのいいわけ」（国語研 第3回国際シンポジウム第2分科会 発表資料および会議記録）  
 杉戸 1996 「メタ言語行動の視野」（『日本語学』15巻11号）  
 杉戸 1997 「敬語教育の課題：敬意行動の中の敬語を」（『日本語学』16巻13号）  
 杉戸 1998 「メタ言語行動表現の機能 --- 対人性のメカニズム」（『日本語学』17巻11号 臨時増刊号）  
 杉戸・塚田 1991 「言語行動を説明する言語表現(1) 専門的文章」（国語研報告集12）  
 杉戸・塚田 1993 「言語行動を説明する言語表現(2) 公的なあいさつ」（同上14）